※ 北海道建設部 建設現場のICT活用に関する北海道の取組方針 (説明版) 道の動き 情報化施工の取組状況 国の動き H28~ 現 ① TSによる出来形管理 i-Construction ~建設現場の生産性革命~ 道内建設技能者等の高齢化、 (10,000m3以上の土量を含む工事) ② ICT建設機械による施工 ①ICTの全面的な活用(ICT土工) 若年入職者の減少 ③全面的なICT活用工事 ②全体最適の導入(コンクリート工の規格標準化等) ●道内建設業の厳しい経営環境 (施工プロセス全ての段階においてICT活用) ③施工時期の平準化 ④ 部分的なICT活用工事 ●ICT活用への期待 (施工プロセスの一部の段階においてICT活用) ⑤簡易的なICT活用工事 -Constructionにより、これまで 当たりの仕事量 (施工プロセスの一部の段階においてICT活用) より少ない人数、少ない工事日 数で同じ工事量の実施を実現 建設現場の生産性向上、安全性向上のため、取組の加速が必要 見直しの視点 国の「i-Construction」の動向を踏まえ、ICT活用工事取組拡大のため、対象工種等の拡大 ICTの導入等により、 中長期的に予測され る技能労働者の減 新・取組方針(工程表) 工事日数削減 ≥ 現場作業の高度化・効率化 により、工事日数を短縮し、 休日を拡大 ■情報化施丁の推進 使用原則化(1万m3以上) 施工者の実施規模を踏まえ土工規模基準の拡大を検討 一般化 ◆TS出来形管理 施工者希望型(1万m3未満) 施工者希望型 ※TS:GNSSによる締固管理技術、MC/MG建機による施工技術は、全面的なICT活用 ◆ 使用原則化 (1万m3以上) 工事 (土工) の試行の中での採用状況等を踏まえ、使用原則化を目指す ■ICTの全面的な活用に向けた取組推進 「全面的なICT活用工事」 全面的なICT活用工事 とは 部分的なICT活用丁事 施工プロセスの全ての段階において 簡易的なICT活用工事 ICT施工技術を全面的に活用する工事 ① 3次元起工測量※1 施工者希望型 ② 3次元設計データ作成※2※3 ③ ICT建機による施工^{※2} 土工 ④ 3次元出来形管理等の施工管理※3 (1万m3以上) (1千m3以上) ⑤ 3次元データの納品※3 舗装工 従来の測量方法も可 路盤工(3千m2以上) 修繕工(3千m2以上) (1万m2以上) ※2 部分的なICT活用工事 は必須項目 構造物(橋脚・脚台) ※3 簡易的なICT活用工事 は必須項目